

【面接官の印象】

1. 外国人面接官の印象

30歳前後の米国人男性。愛想が良く、好青年に見えた。

2. 通訳ガイド

40～50歳前後の女性。落ち着いていて、ベテランの通訳ガイドらしく、私の応答に相づちを打ち、2～3回笑顔をみせた。

3. 通訳試験について

《出題された日本文》

居酒屋は日本版のパブである。通勤帰りなどの客が気楽に立ち寄れる場所である。メニューは幅広く、アルコール類から軽食焼き鳥など出される料理は様々である。値段はいずれも手頃で、居酒屋は通例駅の近辺にある。

《自分の解答》

ほぼ3分の2は答えられたと思う。時間は1分ぎりぎりであった。

4. 2分間プレゼンテーションについて

《出題されたトピック》

- ① ①、③は答えられないと思い、すぐ②を選んだので、他のトピックは定かに覚えていない。
- ② 流鏝馬

《選択したトピック》

『 流鏝馬 』

《発表した内容》

流鏝馬は馬の背に乗り、矢を放つ武士の鍛錬から始まった。鎌倉時代に行われた武士の儀式である。鎌倉時代は、武士による最初の政権で、将軍は源氏の源頼朝であった。馬の背にまたがり、走りながら矢を的に射る。流鏝馬は神道の儀式で鎌倉の八幡宮などで行われている。

5. 質疑応答について

	流鏝馬 ○流鏝馬とは何か 日本神道の儀式。 ○神道の儀式であるのは本当か ○日本の宗教に2つあるが、他に何か 仏教。神道は日本古来の宗教。
--	--

<p>居酒屋</p> <p>○居酒屋に行きたい、どうすれば良いか。</p> <p>居酒屋は夕方オープンする。レストランなどは、のれんが下がっていればオープンにしていることがわかるが、居酒屋は赤提灯に明かりが灯ればオープンのしるし。</p> <p>○居酒屋は狭いので、レストランの客と違って、客は立って飲み食いする。</p>

6. 試験を終えての感想

- 試験後数日経って、あの時もっと整然と答えれば良かったと後悔している。
- ただ、何度か笑いながらの応答があったので良い印象を与えたのではと思っている。
- 無言だけはしないように、火事場のばか力を発揮しての11分間であった。あっという間に終了した気がした。